

<p>伝道弟子、聖書にある伝道者弟子のキャンプ(答え)『キリスト』(使徒 29-11)</p> <p>*序論 ▲聖書にある伝道弟子のキャンプはどんなものであったのか。13つのシステムの答え (1)関係(生活)-私と関係している人に答えを与えるのだ。ここで私の生活が出てくる。この部分が成り立つとき、みことばが生きて成就する。 (2)職業(計画)全体-私の職業にしたがって計画を立てなければならぬ。全体を見なさい。 (3)現場(必然)働き-ここに合せて現場が見える。神様が働かれる必然的ことを見るようになる。</p> <p>2.見た人 ▲必ずこの答えを見た人を連れて行ったのだ。これがはじまりだ。この人を連れて行けば、また別の答えが始まる。 (1)使徒 2:14-21、みことばが生き返る。 (2)使徒 2:17、ここで使徒 2:17 節が出てくる。子どもたちは預言をして、若者は幻を見て、老人は夢を見る。 (3)使徒 2:42、この人々を送り出し始めたのだ。 ▲今日、みなさんが答えを出さなければならぬ。私たちが伝道対象者を見る前に、いつも私を見なければならぬ。 ▲このときからこの答えを応用した現場の祝福が起きる。</p> <p>3.現場の祝福 (1)使徒 1:14、使徒 29-11、使徒 16:15、使徒 17:1、使徒 18:4、使徒 19:9、弟子 (2)使徒 2:42、使徒 14:20-28、使徒 16:16-40、使徒 17:6、使徒 19:10-12、それから、答えを出した人が立つときまで、他人を立てて出たのだ。 ▲これが伝道弟子が持たなければならぬとても重要な伝道キャンプだ。</p> <p>4.神様が私たちに恵みをくださる (1)伝道者-みなさんが伝道者であることがまちがいないならば、神様は必ず答えをくださる。 (2)伝道者の体質-みなさんが伝道者の体質だけになったら、神様は必ずと答えをくださる。 (3)弟子を探る者-みなさんが弟子を探る者ならば、神様は引き続き答えをくださるだろう。</p> <p>*結論 (1)伝道者とはだれなのか-救われた者 ▲訓練を受けた者が伝道者なのでなく、救われた者が伝道者だ。 (2)救われた者はだれか ▲救われた者は、世の中に向かった救われた者の涙がある。 1)マイ 9:35-38、イエス様がかわいそうに思われたと言われている。 2)Ⅱテモテ 1:4、私があなたの涙を分かる。 3)現場-この二つが合わせてしまえば、現場を見たことだ。そうすればすべてが見える。 (3)霊的問題が深刻なことを見たのだ。 ▲みなさんが神様の重要な働きを得る答えを捜し出さなければならぬ。</p>	<p>70人: 聖書にある重職者の地教会(使徒 1:14)</p> <p>*序論 ▲重職者のみなさんが地教会では、おもにどんなことをすべきなのか。ひとことで地教会とは何か。こういう契約を握らなければならぬ。 1.ルカ 10:1-20、マイ 28:16-20、使徒 1:1-8、祈り ▲もっとも重要な部分が、ルカ 10 章で 70 人の重職者を呼んで現場、マイ 28:16-20、イエス様の復活を見て、使徒 1:1-8 節もみな聞いた。 (1)基本-私たちは今 3 つの基本を話した。 1)関係-私の生活を通して関係ある人に福音を伝えなければならぬ。 2)職業-私の職業を通して全体に福音を伝えなければならぬ。 3)現場-私の現場で福音を伝えなければならぬ。 (2)私と現実-現実はどうであるが、私はこの程度しかだめなのでないか (3)宗教-教会 ▲問題は世の中に出てみると宗教はものすごい。ところが、実際、私たちの教会は力がない。 ▲祈りは現実の中で、最も正常の中で祈りを見つけ出すのだ。私の最も正常な中で、祈りを見つけて味わえるならば、これが最高の答えになるのだ。 ①早朝祈り ②定刻祈り ③徹夜祈り 一つだけ見つけ出さない。私たちが毎日、毎瞬間、定着しなければならぬ定着駅がなければならぬのに、それがないのだ。キリストを味わう祈りを正しく知って教えるのが私たちの最高の義務だ。だれがなんとと言ってもそう。キリストを正しく味わう祈りの奥義を私が持っているならば、すべてをみな持っているのだ。</p> <p>2.目-3種類 ▲①隠された者②散らされた者③残った者に会うようにされる。聖書に最も重要な単語3種類(隠された者、散らされた者、残った者)を探して動くのが地教会だ。それで一言で地教会とは何か。神様が最も重要だと思われるこの部分を見るのだ。 (1)隠された者-使徒 29-11、使徒 24:1-42、使徒 8:26-40、使徒 9:15、使徒 10:1-45 (2)散らされた者-使徒 11:19、使徒 16:15、使徒 17:6、使徒 18:1-4、使徒 19:9 (3)残された者-ローマ 16 章、Ⅰコリント 16 章、コロサイ 4 章の人物 ▲この 3 種類の人々を探るのが地教会だ。</p> <p>3.このとき、とても重要な時代はなにかを見るようになる。 (1)いのちをかける時代(殉教)-初代教会の重職者はみな殉教した。これは命をかけるほど見たのだ。 (2)預言時代(カノン)-このときに現れたのが今日、みな聖書になった。 (3)永遠な祈りの課題時代(答え)-このとき受けた祈りの課題が全部永遠な祈りの課題となった。今でも答えられている</p> <p>*結論 (1)私の祈り-このときから神様が必ず私にくださる祈りが出てくる。 (2)私のみことば-神様が私にくださるみことばがある。 (3)私の伝道-神様が私にくださった伝道がある。それで、いのちをかけてするのだ。 ▲これが重職者の方が必ず受けなければならぬ答えだ。</p>	<p>MH: ミッションホーム-すべてのこと(使徒 2:1)</p> <p>*序論 ▲初代教会ではミッションホームですべてのことをみなした。福音と生活を正しく味わうこの一つ祈りだけ成り立てば良い。</p> <p>1.すべてのこと-経済 ▲初代教会ではどのようにすべてのことをみなかけたのか。いくつかの祈りを教えなければならぬ。 (1)使徒 1:14(使徒 1:1-8)、専念、ひたすら祈りに専念したのだ。これは使徒 1:1-8 節が入っているのだ。 (2)使徒 2:1-4(使徒 2:17)、五旬節の日になって、重要なのは、どの程度、祈れよといふのか。使徒 2:17 (3)使徒 2:42(使徒 2:46-47)、使徒の教えを受けて、祈りに専念したのだ。こうしていたら、使徒 2:46-47 節、毎日、神殿で、毎日家で成就したのだ。 (4)使徒 3:1(使徒 3:6)、午後三時の祈りの時間、使徒 3:6、私たちが定刻で祈る時間に神様は唯一なことを準備しておられる。信じなければならぬ。 (5)エペソ 6:18(24 時)、パウロが言うのに、エペソ 6:18 節にいつも聖霊にあつて祈りなさい。このようになれば 24 時答えが見え始める。そうすれば力を得るのだ。 (6)Ⅱコリント 12:1-10(天)、霊的問題があるとき、深い祈りに入らなければならない。 (7)使徒 27:24、危機がきたとき、パウロは船の下に入るととても深い祈りの中に入った。</p> <p>2.2 つの戦略(ポイント) ▲このとき、ミッションホームで重要な 2 つの戦略が出てきた。 (1)サミット-このとき、神様がサミットとして呼ばれる。 (2)伝道弟子-そして伝道弟子だ。 この 8 種類が伝道ポイントだ。特にこの 2 つ(サミット、伝道弟子)をする所がミッションホームだ。伝道弟子は揺れない。この人たちは、財産(経済)、いのちをみなささげて行った。こういう人に神様は会うようにされるだろう。</p> <p>3.未来 ▲ミッションホームでは簡単に今日を教えたのではない。未来を説明したのだ。 (1)10 年(ミッションホーム、宣教)-レムナントに一番重要なのが 10 年だ。ここに成功すれば自然に家はミッションホームになるのだ。そして、それから世界を見通す宣教の目が開く。 (2)100 年(家族)-初代教会はミッションホームで 10 年だけ教えたのではなく 100 年後のことを教えた。あなたがどのようにして死ぬかという、あなたのいのちをかけてして、死になさい。このように教えるのが最もよく教えることだ。 (3)250 年(次世代)-次世代を置いてローマ征服を、250 年後のことを教えた。これがミッションホームだ。</p> <p>*結論-8種類 ▲伝道ポイント 8 種類がともポイントだ。関係、職業、現場、隠された者、散らされた者、残った者、サミット、伝道弟子が伝道の 8 種類のポイントだ。 (1)みことば-この部分に教役者が目を開いていれば無条件みことばが生きて働く。 (2)経済の答え-もし、この部分に重職者が目を開いたら、完全にメッセージとともに特に経済の答えがくるようになっている。これが宣教経済だ。 (3)文化-特にレムナントは文化を掌握するようになる。 ▲みなさんがミッションホームの祝福を回復して、特にキリストを味わうことを回復するよう願う。</p>	<p>いやしの働き: いやしシステムを作りなさい</p> <p>*序論-いやしシステムを作らなければならない理由 (1)今現在、世界宗教を越えられない立場になった。今、世界宗教は完全にいやし側に入らざるを得ない。今、世界宗教は完全にいやし側に入らざるを得ない。 (2)門-ところで驚くべきことに、恥ずかしくも教会は門を閉めている。 (3)他のもの-今、残っている教会は他のものに関心が多い。</p> <p>1.使命 ▲私たちの団体だけでも良心的に使命を持たなければならぬ。 (1)瞑想いやし-今、瞑想いやしが世界を掌握している。 (2)気功-気功でのいやしがヨーロッパとすべてのエリート層に入っている。後進国までとても科学的に試みる超能力いやしが入り込んでいる。 (3)寺(テンプルステイ)-寺では前は呼んで集めていたが、今は行ってテンプルステイを試みている。 (4)いやし学校-そして今はいやし学校を作り始めて、さらに一歩進んで学校の中に入っている組織も作った。 ▲私たちは聖書にあるいやしを一度見る必要がある。</p> <p>2.聖書にあるいやし (1)マイ 8:1-17、イエス様が来られていやしから入って行かれた。これは目的ではないが、もっとも重要な過程だ。 (2)マルコ 3:15、目的は絶対に違いますが悪霊を追い出す権威を与えるためにあなたがたを呼んだと言われた。 (3)マイ 16:15-20、イエス様にも一番最後も復活していやしをおっしゃられた。 (4)使徒 3:1-12、そして、初代教会が恵みを受けるやいなや一番最初にペテロを通して足のなえた人が立ち上がるいやしの働きが起きた。 (5)使徒 8:4-8、七人の執事をたてたから、最も早く起きたのがいやしの働きだった。 (6)使徒 13 章、16 章、19 章-さらに重要なのはパウロをたてた時だ。使徒 13、16、19 章が重要だ。これはほとんどみな精神、霊的いやし側に入ってしまった。</p> <p>3.準備 ▲それなら私たちがどのように祈りをすべきなのだろうか。今からでも私たちが準備をしなければならぬ。 (1)いやし巡回キャンプ-とてもたくさん広げずに、1、2 人のチームをよく組んで巡回いやしキャンプをする必要がある。ただ、伝道キャンプする式でせずに、少し静かな時間を作りなさい。 (2)招請いやしキャンプ-もう少し必要ならば招請していやしキャンプもする必要がある。小規模で巡回いやしキャンプをして、招請いやしキャンプを持つ必要がある。 (3)チーム構成、訓練、派遣-私たちは今はやくこういうものを考えながら、チーム構成をしなければならぬ。そして、訓練しなければならぬ。そして派遣するべきなのに最終的には安全にモデルを作って、個教会が活用することができるようにしなければならぬ。 ▲すべて疲れた人、重荷を負った人はわたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます(マイ 11:28)。イエス様が言われたみことばだ。私たちが少しいやし側でもそうで、伝道に多くの答えを新しく受けなければならぬ。</p>
--	--	---	---